

○ 小山町

おやま

No. 153

2018/2月1日号

町議会だより

発行：静岡県駿東郡小山町議会

11月15日 レッツ5キッチン

5歳児の食育事業として「レッツ5
(ゴー)キッチン」が開催されました。
包丁の使い方を教えてもらいながら、
みそ汁づくりに挑戦した園児たちの
表情は真剣そのものでした。



12月定例会

平成29年度各会計補正予算を可決 ……2

- 都市計画税条例は継続審査へ ……3
- 5人が一般質問 町政のここを問う ……6
- 高校生議会を開催しました ……11
- 成美地区から「わたしの金太郎」 ……12

12月定例会

平成29年第7回12月定例会が、11月28日から12月13日までの16日間の会期で開かれました。12月定例会では、指定管理者の指定2件、条例の制定2件、一部改正1件、一般会計補正予算のほか、各特別会計補正予算2件などの11議案が提出され、審議の結果、都市計画税条例の制定は閉会中の継続審査とし、その他の議案をすべて原案のとおり可決しました。

平成29年度各会計補正予算を可決 一般会計予算は123億円に

一般会計補正予算 (第7号)

議案第92号 一般会計補正予算(第7号)は歳入歳出それぞれに5億2130万9000円を追加し、予算総額は123億89万3000円になりました。

歳入の主なもの

土木費関連補助金

1億3206万円増額
町道3975号線道路整備事業等の社会資本整備総合交付金の交付額決定に合わせて減額。

新東名スマートインターチェンジアクセス道路整備事業等の地方道事業費補助金の交付額決定に合わせて減額。

町道3975号線道路整備事業等の社会資本整備総合交付金の交付額決定に合わせて減額。



RDFの解体は平成30年度までの補正事業

衛生費受託事業収入
3億9011万円増額
RDFセンター解体事業に対する御殿場市・小山町広域行政組合からの受託事業収入。

ふるさと寄附金
3億7600万円増額
今年度の見込額に合わせて増額。補正後のふるさと寄附金の収入見込額は、合計18億5100万円になりました。

歳出の主なもの

基金管理費

1億14万円増額
ふるさと寄附金の使用道について、「登録有形文化財の保全・活用のため」を選択する寄附金額の見込により、文化財保護基金積立を増額。

広域行政組合RDFセンター受託事業費

3億8911万円増額
御殿場市・小山町広域行政組合からの受託事業として、桑木地内にあるRDFセンター解体工事を町が実施。

町道整備事業費

1億675万円増額
富士紡落合社宅跡地の土地利用計画に伴い、接続道路となる町道1004号線の拡張整備を計画。当

該道路整備に係る物件移転調査費、工事費、用地費など。



落合社宅の跡地利用に向けて町道整備を計画

公共道路整備事業費

2億2073万円減額
社会資本整備総合交付金の交付額決定に合わせて事業費を減額。

パークゴルフ場管理費

288万円増額
平成30年3月の供用開始を目指して、現在、建設しているパークゴルフ場クラブハウスの備品や芝刈機を購入。

下水道事業特別会計 補正予算(第2号)

議案第93号 下水道事業特別会計補正予算(第2号)は歳入・歳出それぞれに1億85万4000円を追加し、予算総額は2億2237万2000円になりました。

000円になりました。

歳入

介護保険事業費補助金
75万円増額
電算システム改修に対する国庫補助金。

歳出

地域支援事業支援交付金
255万円減額
平成29年度交付金変更申請に伴い、現年度分が減額交付されるもの。

地域密着型介護サービス給付費
3796万円増額

高額介護サービス給付費
652万円増額
いずれも決算見込による増額補正。

介護予防・生活支援サービス事業費
72万円減額

一般介護予防事業費
72万円増額
利用状況に合わせて、通所型サービスB事業を減額し、高齢者の生きがいと健康づくり推進事業を増額。

介護保険特別会計
補正予算(第2号)

議案第94号 介護保険特別会計補正予算(第2号)は歳入・歳出それぞれに44万6000円を追加し、予算総額は18億137万6

000円になりました。

000円になりました。

000円になりました。

000円になりました。

000円になりました。

000円になりました。

000円になりました。

000円になりました。

小山町子育て支援センター 「きんたろうひろば」の 設置及び管理に関する条例を可決

12月定例会で小山町子育て支援センター「きんたろうひろば」の設置及び管理に関する条例案が提出されました。

小山町子育て支援センター「きんたろうひろば」は、子育てをする親同士が気軽に集える場所として、また、子育て支援の新たな拠点として、現在、小山町総合文化会館・図書館の隣接地に建設されています。

条例案の審議に当たって、常任委員会や議会全員協議会で次のような質疑・回答がありました。

Q 幼稚園「わくわくランド」・保育園「べんぎんランド」との連携は。

A 各園で行っている「わくわくランド」「べんぎんランド」で従事している先生方と連携して、事業を実施していきたいと考えています。

Q 子育て支援専門員を

配置する予定は。

A 名称が「利用者支援専門員」に変わり、1名を配置する予定です。利用者の支援と相談業務を兼ねながら、子育て支援事業のコーディネートも行ってもらう予定です。

Q 施設内に設置する金太郎力フェスは、図書館利用者も含め、持参した弁当などが食べられるスペースにするとの説明があったが、軽食などの販売は。



3月開所に向けて工事が進められる(12月撮影)

Q 配置する職員の数と業務内容は。また、設置後の管理・運営方法は。

A 正職員、臨時職員を1名ずつ配置したいと考えています。子育てに関する相談のほか、子育ての情報提供も行っていく予定です。開所後の総合的な管理は、こども育成課で行います。※審議の結果、全員賛成で可決としました。



子育ての新たな拠点「きんたろうひろば」は3月上旬に開所予定

町営住宅条例を 一部改正



新しく建てられた木造の南藤荘団地A棟

近年の社会情勢の変化に伴い、公営住宅に対する需要の増加や入居者の要望が多様化していることから、公営住宅法の規定に基づき、平成30年4月から町営住宅の管理を静岡県住宅供給公社が代行することになります。

管理代行の主な業務は、入居募集の決定や退去事務、修繕等になります。家賃の決定や徴収等は引き続き、町が行います。管理代行により、入居者へのサービス向上を効率・効果的に行うこととされています。※審議の結果、全員賛成で可決としました。

「都市計画税条例」 継続審査

議案第95号「小山町都市計画税条例の制定について」は、議会2日目に追加提出されました。当局より、町では人口減少の対応策として、雇用の確保と住環境の整備を掲げている。都市計画事業を中心とした市街化区域内のインフラ整備は必須であり、事業を推進するための財源として、都市計画税の導入は必要との説明がありました。

本件を付託された総務建設委員会では、様々な議論が交わされました。審議の結果、「非常に重要な条例制定である」更に十分な審議をする必要がある」との意見が出され、委員会では継続審査にすべきと決し、委員長から議長へ申し出されました。

最終日に「継続審査の申し出」は全会一致で可決され、都市計画税条例の制定は、閉会中の継続審査となりました。

2施設の指定管理者 の指定を可決

町有施設の小山フィルムファクトリー(尼柄)と小山町シルバークプラザ(用沢)の指定管理者の指定について、審議の後、表決の結果、小山フィルムファクトリーは賛成多数で、小山町シルバークプラザは全員賛成で、それぞれ可決しました。

小山フィルムファクトリーの指定管理について

指定管理者
特定非営利活動法人
小山町フィルムコミッション

指定管理期間
平成30年2月1日から
平成34年3月31日まで
(4年2カ月間)

小山町シルバークプラザの指定管理について

指定管理者
公益社団法人 小山町
シルバークセンター

指定管理期間
平成30年4月1日から
平成33年3月31日まで
(3年間)

常任委員会

報告

12月定例会で、各常任委員会に付託された議案に対する質疑応答を報告します。

総務建設委員会に付託された6議案については、12月5日に審議を行い、一般会計補正予算ほか4議案は、原案のとおり可決すべきものとし、議案第95号「小山町都市計画税条例の制定について」は、継続審査にすべきとした。主な内容は次のとおり。

小山フィルムファクトリーの指定管理者の指定について

Q 指定管理の期間を、平成30年2月から平成34年3月までの4年間とする理由は。

A 指定管理者として指定する小山町フィルムコミッションは、長きにわたっての実績もあり、施設の内容や利用者の動向を熟知し、地域の住民とも密接な連携が期待できることから、同NPO法人を指定管理者として考えています。

Q NPO法人の認可を受けた時の資料と指定管理申請時の資料との整合



小山フィルムファクトリーを現地視察

性はとれているか。

A 今回の指定管理の受付時に、団体の財力を確認するため、今年度以降5年間の収支予算書の添付を求めて審査しています。NPOの認可は、町権限ではないため、認可時の資料については、把握していません。



小山フィルムファクトリーに指定管理を導入

町営住宅条例の一部を改正する条例について

Q 今後、静岡県内の住宅供給公社が町営住宅を管理することが行っていた受付けや審査の期間、サービスなどに大きな変更は生じるのか。

A 町が従来行っていたときよりも迅速になり、また、修繕も夜間でも対応できることになりました。町が直営で実施していたときよりも効果的・効率的に管理・運営ができるものと考えています。

一般会計補正予算(第7号)

Q 今年度までの国土調査の進捗状況は。また、未実施の箇所はどこか。

A 現在の進捗率は84パーセントです。未実施の主な箇所は、富士スピードウェイや富士霊園内になります。

Q 急傾斜地崩壊防止事業費を減額とした理由は。また、どの箇所を実施する予定であったのか。

A 場所は足柄小学校北側の神田急傾斜地です。県費補助の決定により、内示額が当初要望していた額よりも大幅に減額となったことから、減額補正としました。

Q 今後、工事はどのように進めていくのか。

A 本事業は県費補助で、平成30年度までの3年間の計画で実施しています。今年度は、当初に予定していた範囲まで工事を実施できませんが、最終的

には全体が完成するまで工事をを行います。



未施工の箇所は来年度実施へ(向方)

下水道事業特別会計補正予算(第2号)

Q 下水道総務費に消費税納付金が計上されているが、詳細な内容は。また、これに延滞金などは含まれているのか。

A 下水道事業の消費税の納付は、年2回に分けて納付しています。毎年9月末時点で前年度分の確定申告、年度末3月に次年度分の中間申告をしています。9月に確定申告をした際に、税額の計算結果に基づいて、3月に払うべき次年度分の中間納付の税額分の予算に不足が生じたため、補正で対応するものです。

都市計画税条例の制定について

更に慎重・審議する必要がある、継続審査にすべきとの意見が挙げられ、採決の結果、閉会後の継続審査にすべきと決しました。

今回の委員会での質疑・答弁の内容は、審議終了後に報告されることになりました。

文教厚生委員会に付託された4議案については、12月6日に審議を行い、原案のとおり全員賛成で可決すべきとした。主な内容は次のとおり。

**小山町シルバーワーク
プラザの指定管理者の
指定について**

Q 将来的には建物を新しく建て替えるのか、それとも、既存の施設へ移設するのか。今後の計画について伺う。

A 現時点では、まだ白紙の状態です。移転先や改築、その他全ての選択肢を踏まえて3年間で検討してまいります。



シルバー人材センターに指定管理を継続(小山町シルバーワークプラザ)

小山町子育て支援センター「きんたろうひろば」の設置及び管理に関する条例について

Q 子育て支援センターの事業の詳細を伺う。

A 現在、きたろうひろばも園で子育て支援センター室を設けて、保護者による子育て仲間の交流や子育てに関する相談等を受けています。「きんたろうひろば」でも同様に実施し、相談室を設けて、予約制で子育てに関する相談を受け付けることを考えています。

また、子育てに関連する保健事業や文化会館で催している乳幼児に関するイベントなども月1回程度、実施したいと考えています。

Q 日曜日を休館日とした理由に、調査結果との説明があったが、どのような調査をしたのか。

A 10月にべんぎんランドの利用者からアンケートを取りました。利用したい曜日の回答では、土曜日と日曜日が低い結果になりました。

検討委員会でもアンケート結果を検証し、日曜日は家族一緒に過ごしてもらおうことで、日曜日を休館日に決めました。



きんたろうひろば内装工事を現地視察

ちが遊べるジムや遊具、加湿式空気清浄機を2台設置します。その他、屋外に滑り台、ブランコ、砂場を設置します。

Q 障害者福祉費の重度障害者(児)医療費扶助600万円増額の内容は。

A 毎月、130人から150人程度の医療に掛かった方に対する自己負担分の扶助です。件数が増加傾向にあり、決算見込による増額です。

Q 後期高齢者医療事業費のうち、脳ドック助成扶助の対象者は、また何人分を想定しているのか。

A 対象は希望者で、後期高齢の検診を受けている方になります。脳ドック助成扶助は、費用額2万2000円の9割を町で扶助しています。件数は5人分です。

**一般会計補正予算
(第7号)**

Q 子育て支援センター遊具等に350万円が計上されているが、どのような遊具を配置するのか。

Q 中学校整備事業費110万円の工事内容は。

A 北郷中学校グラウンド南側のバックネットが老朽化しているため、バックネットの撤去と解体工事費です。なお、撤去後の再設置の計画はありません。



北郷中の老朽化したバックネットを撤去

**介護保険特別会計
補正予算(第2号)**

Q 地域密着型介護サービス給付費と高額介護サービス費が増額となった理由は。

A 小規模のデイサービス等が地域密着型に振り替えられたことにより、地域密着型介護サービス給付費で支払うようになったためです。

高額介護サービス費は、平成27年から所得に応じて、負担割合2割になりました。自己負担額が増えたことで、介護認定の限度額でのサービスを受けるのと基準額を超えて、高額介護サービス費で支払うケースが多くなってきたためです。



「おでかけクラブ」での通所型サービス(中高)

Q 通所型サービスB事業と高齢者の生きがいと健康づくり推進事業が、それぞれ増額・減額になっているが、今後は一般介護予防事業へ移行する計画か。

A 当初予算の編成時では、通所型サービスB事業は、NPO法人が2カ所で実施することを計画していました。

しかし、需要者が余りいなかったため、現在1カ所で実施しています。このため、一般介護予防事業を充実させるために予算を組み換えるものです。

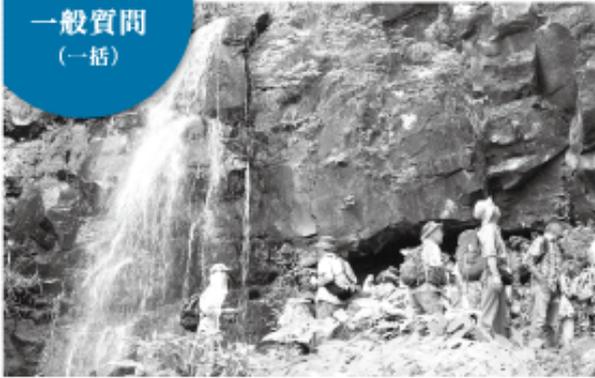
通所型サービスB事業から一般介護予防事業へ重点を移すものではありません。

一般質問に5人が登壇 町政のここを問う



鈴木 豊
(新生会)

一般質問 (一括)



町内の豊かな自然や史跡を生かして着地型観光の誘客を
(写真:足柄・観光対面の滝)

Q 町の史跡などを掘り起こす観光資源の利活用は A 町の史跡などを掘り起こす観光振興を進めます

私は、小山町の自然環境

と史跡を生かした着地型の観光ツアーを思い描いてきた。例えば、足柄の史話と伝説の地の史跡巡りや寺巡りなどで、これらの観光資源を掘り起こすことに意義がある。

来訪者をもてなす観光

ガイドの養成や地域資源を活用した体験型観光メニューの創造など、受入環境の整備を進めて、誘客に努めます。

観光地域づくりの取

組みの中で、観光事業者や地域住民など、幅広い分野の関係者と連携し、地域の魅力を発掘・活用した着地型観光商品を企画します。

生涯学習課が作成して

いる文化財の冊子を、史跡や寺院巡りなどのガイドマップとして活用していきます。

※着地型観光：

旅行者を受け入れる側の地域が、その地域でおすすめの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する形態。

町の史跡などの観光資源の利活用について、町長の考えは。

町内の史跡などを掘り起こす着地型観光ツアーを旅行会社や民間業者と企画する考えは。

町内の史跡や寺院などの分かりやすい観光マップを作成する考えは。

Q 地域で子どもたちを見守る安全体制への強化は A 地域の自主的な見守り活動を町全体に広げます

町内で見守り隊が通学路に立っていたり、防犯パトロール車で見回っている姿を見受ける。子どもたちの安全を守るために、今後も学校や地域、PTAとの協力工夫が必要不可欠である。

までの中学生以下の事故は7件で8人が負傷し、車との接触が3件3人、そのほかは乗車中の事故でした。

地域で子どもたちを見守る安全体制への強化は。

学校では、子どもたちへの防犯対策をどのように考えているか。

町内において、子どもの事故や事件の内容は。

子どもたちの見守りに対しての町の取り組みは。

足柄シニアクラブ松の会では、自主的な見守り活動を実施しており、この取り組みを他地域へも広げていきたいと考えています。

職員の危機管理の徹底、子どもたちへの安全教育の充実、保護者や地域との連携に心がけ、防犯対策に取り組んでいます。

平成29年1月から9月

通学路の見守りは、交通安全対策協議会や交通指導員等による街頭指

導員等による街頭指

導員等による街頭指

一般質問
(一問一答)



高畑 博行



旧町立体育館解体後の跡地利用の計画は(落合)

Q 東京五輪自転車ロードレースの見通しと町の態勢は
A 正式に決定していないため、一般論で回答します

Q 最終決定は平成30年3月頃とのことだが、東京オリンピックの競技種目・自転車ロードレースのゴールが富士スピードウェイになる見通しだ。そこで、早めに準備に入るべきだと考え、質問する。

A 町長
世界的なイベントが実施されることを考慮したとき、町としても実施する分野に関連する機関等と綿密な協議や調整を行い、対応することになります。

Q 町長戦略課長
町内への経済的波及効果を考慮し、町内事業者の活用について、関係機関と協議・調整を行う必要があると考えます。

Q 署の設置は、年度中途でも可能なため、その際は、広報紙等を通じて皆さまにお知らせします。

Q 観光客への対応、経済効果の具現化、交通安全対策等について、町長の考えを伺う。

Q 飲食物の提供や地元物産のアピール、観光への誘導についてどう考えるか。

Q 役場内で担当する専門部署(係)を設置して対応すべきと考えるがどうか。

Q 自転車ロードレースの聖地への取り組みは、
A 経済建設部長
自転車レースやサイクリングイベントを通じて、静岡県東部・伊豆地域との広域連携によるサイクリストの聖地化を進めます。

Q 富士紡落合社宅と旧町立体育館跡地利用の展望は
A 居住環境を整備し、定住人口を確保します

富士紡落合社宅跡地と旧町立体育館・中央公民館跡地の利用は、成美地区の活性化につながると期待の声もある。そこで、この2カ所の跡地利用について質問する。

Q 現段階での富士紡落合社宅跡地利用の基本構想を伺う。また、土地は借地で建設ということか。

Q 旧町立体育館跡地利用の構想を伺う。

Q 関係住民との間で十分な意思疎通をもって事業に移って欲しいのだが。

Q 町としての基本的な考えや構想を町長に伺う。
A 町長
高齢者や子育て世帯向

A 都市整備課長
対話型調査の結果に基づき、落合社宅の戸数と

A おやまで暮らし課長
旧町立体育館と中央公民館の跡地利用については、落合区との町民井戸端会議において、宅地分

A 都市整備課長
住民の方々を対象とした説明会などを開催してきました。今後も住民対話を重要視して、事業を進めて参ります。

一般質問
(一括)



池谷 弘
(おやまの会)



三重県玉城町は東大大学院と共同研究で
乗合型交通システム「コンビニクル」を実証実験中
(写真提供:玉城町「元気バス」生活福祉課)

Q 小山町にあった公共交通のオンデマンド化の検討は
A 町民の皆様の意見を伺い抜本的な見直しを検討します

小山町での生活は車が

必需品だが、高齢化率が今後も上がっていく中で、高齢者の免許返納が奨励されている。高齢者が生き生きとした生活を送っていくためには、今後、「ドアツードア」が可能なオンデマンド交通を検討していく必要がある。

三重県玉城町などで成功している事例のオンデ

マンド化を検討していく考えはあるか。

A 町長戦略課長

本町の公共交通の費用対効果は、大変厳しい状況です。このことから、「コンビニクル」の導入も含め、全国の優良事例等も参考にし、オンデマンド化やタクシー業者が参入しやすい環境づくりを研究するなど、最良の公共交通の実施に向けて抜本的な見直しを図り、対策

を講じていきます。

Q 検討委員会に関係者の参加は。
A 町長戦略課長
町の地域公共交通会議などの中で、実際に公共交通を利用されている方やバス等の事業者から意見を伺います。

Q 人口ビジョンに沿った保育園入園の今後の対応は
A 今後の入園希望者や園児数を見込み施設整備を進めます

小山町人口ビジョンで

は2025年までに約2100人増を見込んでいます。本町へ転入し、安心して働くためには、特に乳幼児の保育環境の整備が必要である。今後予想される転入者の乳幼児の保育環境整備での保育園設立や定員増には、多くの時間や経費がかかるため、早い段階で取り組み

Q 転入者の乳幼児の予想人数は。
A 教育長
推計で160人程度と見込んでいます。

Q 新規子ども園の検討がされているのであれば、具体的な計画は。
A 教育次長
子ども園が整備されていない成美・明倫・須走地区については、平成32年度末までに再編して運営していきたいと考えています。上野地区の新産業集積エリアの子ども園は、当該エリアの整備の進捗に関連して協議して

Q 入園募集が終わってしまった後の入園希望者への対応は。
A 教育次長
現在も年度途中での入園については、随時受付しています。各園の入園者の状況により、待つていただくことがあります。

が必要である。

Q 希望者は全て幼稚園・保育園に入所できるのか。
A 教育長
希望者や今後の入園児数を見込み、定数および施設整備を進めていきます。

進捗に関連して協議して



箱根町では公用車を使った「移動期日前投票所」を開設
(写真提供:箱根町選挙管理委員会)



池谷 洋子

Q 期日前投票を各小学校校区の支所や公民館で実施を A 投票所の再編成と併せて慎重に検討していきます

先の衆議院選挙では、期日前投票の利用者数が過去最多を更新した。背景には、投票率を少しでも高めようと工夫を凝らしている各自治体の取り組みがある。

先日、「入所している施設では投票ができない」との相談があった。また、須走地区の住民から「本庁まで行くには遠過ぎる、支所で投票できないか」との声

も寄せられた。今後、超高齢化が進み、容易に投票所に行けなくなる方々のためにも期日前投票所の利便性を高めるべきである。

な責務であることから、支所や公民館での期日前投票の実施を検討していきます。また、現在設置している9カ所の投票所についても再編成の検討をしていきます。

各支所や公民館等で期日前投票はできないか。

選挙管理委員会委員長 有権者が投票しやすい環境を整備していくことは、選挙管理委員会の重要な

公用車等の中で移動投票はできないか。

実施をした場合、時期はいつ頃になるか。

Q 災害時の断水に備えたトイレの確保は A 災害時に備えて簡易トイレの備蓄を進めています

災害時の排せつの備えは、水や食料の備蓄と同様に避難所に求められる重大な役割である。過去の災害では、断水で避難所のトイレが機能せず、衛生面での問題やトイレを心配して水分を控えた結果、エコノミー症候群や脳梗塞などに至った例が相次いだ。

災害時にマンホールトイレ設置の考えは。

災害用トイレについて、どのような計画をしているか。また、備蓄についての考えは。

災害用トイレの実践的な訓練をすべきと考えるが、支援方法は。

熊本地震では、水洗トイレが使用できない中、下水

マンホールトイレは、衛生面や健康面でも多くの長所がありますが、管が破損した際は、使用できなくなる短所もあります。また、水洗等に要する用水を確保

町内11カ所の避難所として簡易トイレや要配慮者用トイレを2基展示します。

12月の須走地区合同の地域防災訓練で簡易トイレを2基展示します。

簡易トイレや要配慮者用トイレを2基展示します。

12月の須走地区合同の地域防災訓練で簡易トイレを2基展示します。

12月の須走地区合同の地域防災訓練で簡易トイレを2基展示します。

12月の須走地区合同の地域防災訓練で簡易トイレを2基展示します。

平成29年 小山町 高校生議会を 開催

10月21日に小山高校から16名の生徒が参加して、小山町高校生議会を総務課と共同開催しました。

高校生議員の表情には緊張が見られる中、議長役に就任した3年生の小見山議長の議事進行によって開会されました。

高校生議員からは、町が直面している課題や日常生活に関する提言など5問が堂々と質問され、町長や教育長、担当部長は、一問一問真剣に答弁をしました。

当局の答弁に対して、高校生議員から再質問もされるなど、町政側と活発な議論を交わしました。

いずれの質問も、小山町の計画や課題、他市町の先進事例を研究して、それぞれの政策提案にまとめられていました。



一般質問の概要

- 1 レンタルサイクルステーションの設置を提案した「サイクリングの町」について
- 2 お通者度向上と結びつけて「生涯を通してスポーツに親しむ生活習慣」について
- 3 総合計画後期基本計画を分析し、旧町立体育館跡地などの再質問も出た「小山町の商業の振興」について
- 4 スタンプラリーなどの企画と町の環境やスポットを活用した「ウォーキングイベント開催の健康増進事業」について
- 5 防災・防犯情報の携帯端末配信と高齢者向けスマートフォン講座の開催を提案



高校生議員から5問が堂々と質問された

高校生の作成した質問は、3人が1グループとなり、6月から約5カ月を掛けて研究されたものです。一般質問作成に当たって、議員も高校生と一緒に、町の課題や状況を分析しました。また、一般質問のポイントや質問の構成方法などを指導しました。開会后、充実感に満ちた高校生の笑顔はとても印象的でした。



答弁を聞く姿から高校生の気遣いが伝わる

一方で、若い視点での質問は、議会にとっても刺激を受けるものでした。今後、次代を担う若い世代に町議会への関心を高めていきたいと思えます。

※高校生議会の一般質問や会議録は、議会ホームページで公開していますので是非ご覧ください。

高校生と自由討論 意見を交換

高校生議会終了後、委員会ごとに分かれて「高齢世代と若年世代が共生する住みよい町は」「選挙権が18歳以上に与えられたことによる政治への関心は」をテーマに自由討論をしました。高校生からは「どのようなすれば共生できるかを家庭で話し合うことが大事」「若い世代と高齢者がお互い理解を示していくことが重要」との意見があり、議員から「一般質問で考えたことを今日だけで終わらせずに、今後も自分の目で確認してもらいたい」などの意見が交わされました。



テーマを決めて委員会ごとに意見を交換

わたしの金太郎

町内で小山町を金太郎のように元気な町にするために頑張っている団体・人を議員自ら訪ねてお話を伺います。



長年にわたり、駿河小山幼稚園で本の読み聞かせボランティアをされている至伏一枝さんにお聞きしました。

Qこの活動は約何年やっておられますか。また活動を始めたきっかけは。
20年以上になります。きっかけは、幼稚園教諭勤務終了後、図書館ボラ

ンティアを経て町内の保育園や幼稚園を回って読み聞かせを始めたのがきっかけです。
Qどの位の頻度で活動なさっておられますか？
月に1回、1時間程度の活動で、野外で行うこともあります。
Q読んであげる本はどんな選択をしておられますか？
3歳児から5歳児の発達段階にあった本を選びます。幼稚園教諭をしていたので、幼児用の絵本はたくさん持っています。

Q活動していて嬉しいことはどのようなときですか？
当時の園児が立派に成長され、街で先生に本を読んでいたいただいたことを覚えてるよ」と声を掛けてもらえると感じます。
Q町や議会に期待することは何ですか？
子どもたちのために、今以上に絵本などを充実してあげてほしいと思います。

3月定例会の開催予定
3月定例会は平成30年度予算を審議する重要な議会です。
2月20日(火)開会
町長提案説明
2月21日(水) 予算補足説明
2月27日(火) 予算質疑
3月5日(月) 一般質問
3月7日(水) 総務建設委員会
3月8日(木) 文教厚生委員会
3月19日(月)閉会
委員長報告・討論・採決等

議員研修報告

県外の自治体から議会改革と各施策を学ぶ
(会津若松市・上市市・石巻市)

10月2日から3日間で全議員による県外視察研修を実施しました。福島県会津若松市議会では、議会基本条例を早くから制定し、議員間討議や政策立案等を導入しています。また、市民の声を市政に反映させるため、政策形成サイクルを確立して取り組んでいます。

2日目に山形県上市市を視察しました。同市は古くからの温泉の街として栄えてきました。温泉や城

下町、林道などの地域資源を活用した「クアオルト構想」に取り組んでいます。「クアオルト」とはドイツ語で健康保養地、療養地を意味しており、住民や観光客が温泉とウォーキングなどを通じて、健康指導や市内の歴史文化に触れる取り組みがされています。宮城県石巻市は、御存じのように東日本大震災に



会津若松市議会には全国から視察に訪れる

て気づかせてくれる視察研修でした。(記 園田豊造)

議会を傍聴してみませんか
●本会議や常任委員会、傍聴することができます。傍聴を希望される方は、右記の開催予定日に、小山町役場4階議場または議会事務局へお越しください。

編集後記

12月議会も終わり、新年を迎えました。昨年の流行語大賞は「インスタ映え」と「付度(そんたく)」に決まりました。インスタ映えは、年輩の方には馴染みが薄いかもしれませんが、若者の間で頻りに使われています。「付度」は、森友・加計問題で注目を集めた言葉で、世相と報道によるものと思われれます。さて、平成30年は戊年で、ونسデツブ小山町が伸び上がるよう、私も議会と行政が切磋琢磨して参ります。

広報委員は、各種研修を受講して、広報づくりのスキルアップを図っています。今後、議会だよりが町民皆さまから御愛読いただけるよう、研鑽を積んで参ります。(記 鈴木 豊)

編集委員
委員長 池谷洋子
副委員長 渡辺悦郎
委員 鈴木 豊
委員 園田豊造
委員 高畑博行

